

一人一人が主体的に子どもを生かすチーム春日野

【春日野小学校教育目標】

進んで学び考え、自分の未来を切り拓く子の育成

【学校経営方針】

見通しをもって、主体的に子どもを生かし、共に高め合うチーム春日野

本校の子どもは、素直で、与えられた課題に対して真面目に取り組む。しかし、主体的に学習したり行動したりすることが苦手であり、学力向上に至りにくい実態がある。学習環境の未確立と学びに向かう力の弱さが影響している。このような子どもに生きる力を育み、地域に誇りをもって次代と自らの未来を創造することができるようにするためには、子どもの実態分析に基づいた取組とその改善、キャリア教育の充実が必要である。すべての子どもの基礎的・基本的な知識・技能の習得を基盤として、自ら進んで学び考える力、自ら律する力を高め、確かな学力・豊かな心・健やかな体の調和のとれた育成を目指すことが「子どもを生かす」ことであると考えている。

そして、「子どもを生かす」ためには、教職員一人一人が教育者としての職責と学校教育を推進する主体者であることを自覚し、確かな授業力と自学自習の習慣化を確立する強い意志、マネジメント力、「当たり前が当たり前ができる」ための人権意識を身に付けなければならない。

手本となる教職員の姿を通して、子どもの主体性と社会性の育成を目指したい。

【目指す子どもの姿】 ～自分・学校・地域に誇りをもつために～

かかんがえる子 すすんでする子 ががんばりとおす子 のびのびいきいきげんきな子

【取組の柱】

知「確かな学力」の育成

- 丁寧な学力実態の分析とそれを踏まえた授業改善
- 「めあて」に応じた「まとめ」・「振り返り」の徹底
- 英語力の育成
- 少人数制・教科担任制による学習の充実
- 言語活動と探究活動の充実
- 学校図書館の活性化
- 「家庭学習の手引き」に基づいた家庭学習の定着（９年間を見通した自主学習ノート）
- 中学校ブロック３校の連携・保小連携の推進

徳「豊かな心」の育成

- 同和問題指導の充実と共通理解
- 人権タイムの充実
- 地域に誇りがもてる樹学習・生活科
- 道徳教育の充実
- 規範意識の育成（あいさつの励行）
- 児童会活動の精選と充実

体「健やかな体」の育成

- 基本的生活習慣の確立
- 体育・運動部活動の充実
- 保健教育の充実（生活調べの活用）
- 薬物乱用防止教室実施の徹底
- 安全教育の充実（避難訓練の充実）
- 食に関する指導の推進

共に高め合う「チーム春日野」

安心できる学習環境

- ・子どもの命を守り切る体制
- ・秩序、規律と思いやりのある学級、学年、学校づくり
- ・見通しがもてる学習活動（授業のユニバーサルデザイン化、ノート作り、自主学習）
- ・わかる授業（学力実態分析、教材研究、教材準備、教育支援との連携）
- ・共通理解と継続
- ・子どもの「困り」に対する支援の推進

高め合い信頼し合う教職員集団

- ・学年を意識した組織
- ・報告・連絡・相談の徹底と情報共有
- ・けじめのある言動（子どもや保護者にとっての身近な手本）
- ・見通しをもち、優先順位と効率を意識した仕事
- ・人権意識・相手意識の向上
- ・ＯＪＴを意識した教職員集団（何でも話せる、聞ける、教え合える、助け合える）

家庭・学校運営協議会・関係機関との連携